



2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月13日

上場会社名 株式会社やまや 上場取引所 東
コード番号 9994 URL <https://www.yamaya.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 山内 英靖
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 田原口 裕基 TEL 022-742-3114
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	123,031	△0.6	4,685	△10.5	4,782	△10.3	2,932	△3.4
2024年3月期第3四半期	123,792	5.5	5,237	113.9	5,332	108.8	3,036	70.6

(注) 包括利益 2025年3月期第3四半期 3,459百万円 (△5.8%) 2024年3月期第3四半期 3,674百万円 (227.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	270.51	—
2024年3月期第3四半期	280.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	68,911	36,304	50.1
2024年3月期	62,418	33,539	51.6

(参考) 自己資本 2025年3月期第3四半期 34,529百万円 2024年3月期 32,207百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	26.00	—	28.00	54.00
2025年3月期	—	27.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	166,000	3.5	6,400	1.3	6,500	1.5	3,700	2.3	341.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー 除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	10,847,870株	2024年3月期	10,847,870株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	6,416株	2024年3月期	6,352株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	10,841,475株	2024年3月期3Q	10,841,543株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記業績予想に関する事項は、3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

[事業全般の概況]

当第3四半期連結累計期間(2024年4月1日～2024年12月31日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善、インバウンド需要の増加などを背景に景気は緩やかに回復しております。一方で、不安定な国際情勢によるエネルギー・資源価格の高騰、人件費や物流費の上昇に加え、継続的な物価上昇による消費者の節約志向が一層高まるなど、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは、豊かな生活をお客様にお届けすることを基本姿勢として、刻々と変化する社会環境と多様化するお客様ニーズへ対応した商品・サービスを提供し、顧客満足度の向上に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間(2024年4月1日～2024年12月31日)における当社グループ連結業績は、売上高が1,230億31百万円(前年同期比0.6%減)、営業利益が46億85百万円(同10.5%減)、経常利益が47億82百万円(同10.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益が29億32百万円(同3.4%減)となりました。

酒販事業において昨年度9月に酒税改正前の仮需があったことや、年末商戦の曜日周りの影響もあり売上高は前年に及びませんでした。新規出店及び改装に関わる費用の増加、人件費や電気代の高騰等により販管費が増加し、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は減少しました。

当第3四半期連結会計期間末において、酒販事業354店(前年同期比1店増)、外食事業621店(同27店減)、グループ合計店舗数975店(同26店減)を運営しています。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

[酒販事業]

酒販事業における売上高は1,009億56百万円(前年同期比1.3%減)、営業利益は35億8百万円(同7.5%減)となりました。

当第3四半期連結累計期間は、地方を訪れる外国人観光客が増える中、地方の店舗でも「Japan. Tax-free Shop」の表示を追加したり、外国語表記の説明を増やしたりし、SNSの活用、人気のある商品の品揃えを強化するなどインバウンド需要の獲得に努めました。年末商戦に向けては、店内全ての商品をギフトや手土産としてご利用いただけるよう、地域ごとの特徴ある商品の品揃えを強化、事前包装やラッピングなどのサービス強化にも努めました。

11月に当社子会社の大和蔵酒造が「世界酒蔵ランキング」の18位に選ばれ、12月には日本の「伝統的酒造り」がユネスコの無形文化遺産に登録されたこともあり、日本酒、焼酎をアピールし、売場の活性化を図りました。新たな取り組みとして、ダイソー商品の取り扱い店舗を東北エリアから順次拡大する予定です。

新規出店として、丸子店(福島県)、立川若葉町店(東京都)、下石田店(山梨県)、長森店(岐阜県)を開店しました。燕三条店(新潟県)は、商業施設の再開発に伴い移転し、燕店を開店しました。また、今津店(兵庫県)、秋田業務店(秋田県)を閉店しました。これにより、2024年12月末における酒販事業の総店舗数は、354店舗(前年同期比1店増)となりました。

[外食事業]

外食事業における売上高は220億75百万円(前年同期比2.5%増)、営業利益は11億70百万円(同18.6%減)となりました。

外食業界におきましては、お客様のご来店は回復しているものの、物価高によりお客様の節約志向・選別志向が高まり、原材料費・物流費・光熱費・人件費の上昇なども相まって、事業を取り巻く環境は厳しいものになっております。

このような環境の中、当社子会社のチムニー株式会社では、創業40周年を迎え、当第3四半期連結累計期間において、第1弾から第7弾の感謝祭を開催し、期間限定メニューや料理家とのコラボメニューはお客様から大変ご好評をいただきました。株式会社つば八では、地方郊外店舗において、より地域に密着した運営を実現するため、つば八店舗内に焼肉席を設けたハイブリッド店の展開を進め、地域のお客様からご好評をいただいております。また、メディア戦略、WEB・SNS販促を強化したことにより、インバウンド及び国内旅行団体、宴会の集客は引き続き堅調に推移しております。

店舗開発としましては、直営店5店舗、FC店1店舗を新規出店するとともに、店舗のブラッシュアップ(改装、業態転換、修繕等)を進めてまいりました。これにより、2024年12月末における外食事業直営店は、332店(前年同期比8店減)、飲食FC店は、289店(同19店減)となり、飲食店の総店舗数は、621店(同27店減)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

総資産は、前連結会計年度末と比べて64億93百万円(10.4%)増加し689億11百万円となりました。

流動資産は、売掛金が23億22百万円、現金及び預金が23億53百万円それぞれ増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べて62億23百万円(15.6%)増加し461億85百万円となりました。

固定資産は、建物及び構築物が5億60百万円増加、のれんが1億12百万円、繰延税金資産が1億29百万円それぞれ減少したことなどにより、前連結会計年度末と比べて2億69百万円(1.2%)増加し227億26百万円となりました。

(負債)

総負債は、前連結会計年度末と比べて37億27百万円(12.9%)増加し326億6百万円となりました。

流動負債は、短期借入金が13億60百万円減少した一方で、買掛金が40億73百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べて31億63百万円(14.2%)増加し254億24百万円となりました。

固定負債は、長期借入金が5億76百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べて5億64百万円(8.5%)増加し71億81百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比べて27億65百万円(8.3%)増加し363億4百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点では2024年5月15日に公表いたしました予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,539	15,893
売掛金	5,651	7,973
商品及び製品	18,989	20,161
仕掛品	70	52
原材料及び貯蔵品	31	37
前払費用	855	789
その他	1,034	1,474
貸倒引当金	△211	△197
流動資産合計	39,961	46,185
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,970	29,552
減価償却累計額	△24,196	△24,218
建物及び構築物 (純額)	4,773	5,334
機械装置及び運搬具	1,877	1,624
減価償却累計額	△1,787	△1,506
機械装置及び運搬具 (純額)	89	118
工具、器具及び備品	9,620	9,821
減価償却累計額	△8,897	△9,036
工具、器具及び備品 (純額)	722	784
リース資産	1,731	1,735
減価償却累計額	△1,460	△1,482
リース資産 (純額)	270	252
土地	4,618	4,618
建設仮勘定	133	42
有形固定資産合計	10,608	11,151
無形固定資産		
ソフトウェア	48	47
のれん	1,464	1,352
その他	24	24
無形固定資産合計	1,538	1,424
投資その他の資産		
投資有価証券	930	885
関係会社株式	992	1,039
破産更生債権等	320	304
長期前払費用	112	134
差入保証金	6,974	6,946
退職給付に係る資産	70	67
繰延税金資産	1,137	1,008
その他	84	63
貸倒引当金	△313	△298
投資その他の資産合計	10,309	10,150
固定資産合計	22,456	22,726
資産合計	62,418	68,911

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,617	14,690
短期借入金	5,000	3,640
1年内返済予定の長期借入金	278	467
リース債務	19	23
未払金	2,178	2,660
未払費用	933	1,068
未払法人税等	983	568
未払消費税等	585	534
預り金	320	469
賞与引当金	869	511
その他	475	790
流動負債合計	22,261	25,424
固定負債		
長期借入金	2,514	3,090
退職給付に係る負債	323	334
リース債務	274	251
役員退職慰労引当金	680	686
資産除去債務	1,533	1,532
繰延税金負債	0	0
その他	1,291	1,285
固定負債合計	6,617	7,181
負債合計	28,879	32,606
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,247	3,247
資本剰余金	5,815	5,815
利益剰余金	22,622	24,959
自己株式	△9	△9
株主資本合計	31,676	34,012
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	532	516
退職給付に係る調整累計額	△0	△0
その他の包括利益累計額合計	531	516
非支配株主持分	1,331	1,775
純資産合計	33,539	36,304
負債純資産合計	62,418	68,911

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	123,792	123,031
売上原価	88,426	87,100
売上総利益	35,366	35,930
販売費及び一般管理費	30,128	31,244
営業利益	5,237	4,685
営業外収益		
受取利息	3	4
受取配当金	20	26
受取手数料	53	59
持分法による投資利益	27	35
その他	88	85
営業外収益合計	194	211
営業外費用		
支払利息	56	58
店舗改装費用	20	33
店舗閉鎖損失	—	0
その他	21	21
営業外費用合計	99	114
経常利益	5,332	4,782
特別利益		
固定資産売却益	1	—
受取補償金	—	68
特別利益合計	1	68
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	2	1
減損損失	496	107
投資有価証券評価損	234	—
その他	67	43
特別損失合計	800	152
税金等調整前四半期純利益	4,532	4,697
法人税、住民税及び事業税	1,186	1,077
法人税等調整額	△80	117
法人税等合計	1,105	1,195
四半期純利益	3,426	3,502
非支配株主に帰属する四半期純利益	390	569
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,036	2,932

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	3,426	3,502
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	244	△43
退職給付に係る調整額	2	1
その他の包括利益合計	247	△42
四半期包括利益	3,674	3,459
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,236	2,917
非支配株主に係る四半期包括利益	437	542

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	酒販事業	外食事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	102,264	21,528	123,792	—	123,792
セグメント間の内部 売上高又は振替高	236	—	236	△236	—
計	102,501	21,528	124,029	△236	123,792
セグメント利益	3,791	1,438	5,229	7	5,237

(注) 1. 調整額はセグメント間取引消去及び固定資産の調整額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

セグメントごとの固定資産減損損失の計上額は、「酒販事業」において72百万円、「外食事業」において424百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	酒販事業	外食事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	100,956	22,075	123,031	—	123,031
セグメント間の内部 売上高又は振替高	260	—	260	△260	—
計	101,216	22,075	123,292	△260	123,031
セグメント利益	3,508	1,170	4,678	6	4,685

(注) 1. 調整額はセグメント間取引消去及び固定資産の調整額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

セグメントごとの固定資産減損損失の計上額は、「酒販事業」において34百万円、「外食事業」において73百万円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年12月31日)
減価償却費	793百万円	790百万円
のれんの償却額	131	112